

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2009 WINTER Vol.66

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



カルタノカタル

潤井川かるたの小径から

INTERVIEW

KOBUDO -古武道-

開館15周年記念

特集14 創作アートの魅力

EVENT CALENDAR 2009

09 ロゼシアター開館15周年記念ミュージカル
「Heart～優しさの中にある勇氣～」

THE STAGE SIDE STORY

はばたく静岡国文祭

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



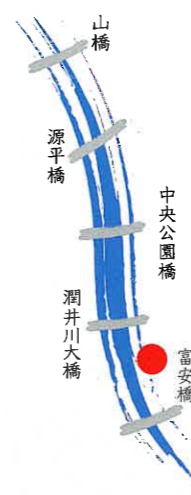


有馬山みななのささ原 風吹けば
いでそよ人を 忘れやはする 大式三位

「職業選択の自由」が保障された現代でも、子が親と同じ道を志すことは、さほど珍しくありません。とはいえ親の業績が偉大であれば、子には過度に期待がかかるもの。またこれとやかく言う向きがあるのも世の常で、二代目というのなかなか大変なようです。

大式三位は、前号で紹介した紫式部の娘。母と同じく中宮彰子に仕えながら、文芸に勤しみ平安女流文学隆盛の翼を担いました。当代ベストセラー作家の娘ですから、それ相応の苦労もあつたはず。しかし、幾多の公達との恋を重ねつつも、やがて高級官僚の妻に収まるなど、奔放かつ堅実な一面もあり、処世術は母よりも長けていたとも思われます。

ところで「百人一首」の歌人百人の中には、親子で入撰しているケースが多く見受けられます。巻頭の天智・持統天皇親子にはじまり、巻末の後鳥羽院、順徳院親子まで、その数十七組。(十八組とする説も)六百年にも渡る年代から選出された百人中、三割以上に親子関係が見られることは、たいへんに興味深い点です。ちなみに撰者である藤原定家も父俊成とともに親子入撰を果たしています。



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませてくれます。



大式三位 (だいにのさんみ)
生没年不明。父は藤原宣孝。母は紫式部。本名は藤原賢子(ふじわらのかたいこ)。大式三位は、夫高階成章の官職「太宰大式」に由来する女房名。

Contents

- **カタルハカタル**
潤井川かるたの小径から 1
- INTERVIEW
KOBUDO-古武道-
ある意味気持ちいい裏切りとして
伝わらなければなりません。 2
- 特集
新進アーティスト作品展 SPECIAL EDITION series 4 5
- EVENT CALENDAR 2009
平成21年度 自主事業1月~3月
情報先取り! 魅力あるイベント満載! 7
- ロゼシアター開館15周年
記念ミュージカル特集全4回
「Heart~優しさの中にある勇気~」
最終回 9
- THE STAGE SIDE STORY
アーモン小暮の探検地新Collaboration
第4巻 外出巻 11
- はばたく静岡国文祭
シリーズ 第4回 12
- Flash Back
ロゼシアター自主事業
2008年8月・9月・10月 13
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE
◆改修工事について
◆モバイルサイト開設
◆チケット購入方法
◆レストラン「ロゼ」のハイキング
◆プレゼントグッズ
◆休館日のお知らせ
◆編集後記 14

古武道
KOBUDO



来春、ロゼシアター初登場となる「KOBUDO-古武道」
異色のコラボレーションから生まれる繊細で爽やかなサウンドは聴く者を癒す。
そんな彼らの音楽性が、演出家石井ふく子さんの目に留まり、初の舞台音楽を手がけることに。
そのレコーディングスタジオにお邪魔し、収録後にお話を伺いました。

ある意味 気持ちいい裏切りとして 伝わったらいいかなって思います。

◆それぞれ異なるジャンルでのコラボレーションですが、結成のきっかけは？

妹尾 結果的にいえば音楽性と人間性ですね。チームワークで大事じゃないですか。まず尺八、チェロ、ピアノで聞くと「えっ何それ!?」って思われますが、僕たちはぜんぜんそういう感覚じゃないんです。最初に彼(藤原さん)のレコーディングにいったときに尺八に対する固定観念がなくなりました。いわゆる虚無僧的なものではなくて、こんなに色々な可能性があるんだと、しかも日本のオリジナルの楽器で、こんな楽器と二緒にできるなんてすごく楽しいし、もっとやりたいということ、人間的にも交流を深めたいということから始まりました。で、彼(古川さん)は友達というか後輩で、お互いプロになるようだったら一緒に録音しようぜ、なんて冗談半分から、いつか現実にと狙って僕のピアノソロのアルバムで実現できた。そんな人間的な絆が音楽にも反映できていると思います。

◆洋楽器と和楽器である尺八の組合せが意外ですが意識されていることはありますか？

古川 楽器の違いはぜんぜん意識してないです。道山さんの楽器がたまたま尺八だったというだけで、尺八だからどうということはないです。

藤原 たぶん三人とも同じ思いでやっていると、やらないかな。古川のチェロだから武のピアノだから一緒にやりたいって、お互いに思い合ってます。

妹尾 信頼関係がすごくありますね。あと僕は尺八で曲が書けるっていうのがすごく楽しくて勉強になります。基本的に和洋折衷っていうのが好きで、軽やかな音に尺八も加わった感じがいいと思うし、そのあたりのバランス生まれるっていうか。

妹尾 三人いればじゃないですけど、まだまだ三人でできることがけっこうたくさんあるし、とりあえず三人で固めていこうかと。

◆最後に三月の公演を楽しみにしている方々にメッセージをお願いします

妹尾 その場所でもしか聴けないものをやりたいたいと思います。高知ではよさこい節をリベルタンゴのイントロに入れたらすごく盛り上がり上げてくれたので、静岡のライブでもそういうようなことをやりたいなって考えていますのでお楽しみに。

古川 まだまだ古武道ってどういうものだろうって思っている方、聴いていただいたことのない方も、たくさんいらつしやると思っています。是非そういう方にも来ていただいで、こういう音楽が自然に存在しているっていうか、そこにあることを感じていただきたい。その結果、すごく僕たちの音楽が好きになってもらえる、そうなるって

を曲に書きたいという意欲が生まれてくるのも楽しい。

◆「古武道」というユニット名も意外性がありますね。

妹尾 いつも演奏が始まる前にやる「気合入れ」、手を重ね合わせるイメージでお互いの名前の一字をとった言葉遊びだったんです。それでスタッフ達もスケジュールに「古武道(仮)」って書いてたり、ファンの方々がいつの間にかそれを知っていたり。もう他には考えられなくなって、その盛り上がりで後押しのおかげでできた僕たちです。イメージ

の違いをあえて狙ったものではないけれど、お客さんにある意味気持ちいい裏切りとして伝わったらいいかなって思います。

◆今日収録したのは、石井ふく子さん演出の舞台の音楽ということですが、初めて担当する舞台音楽はいかがでしたか？

妹尾 三人でアルバムを作るのとは違って舞台には台本があるしセリフも入るので、三人の役割分担を考えながら役者さんを引き立てるための演奏をしたりと、大変でしたけど終わってほっとしています。

藤原 僕は先生とは二度ほど舞台で尺八の音を録音するお仕事させていただきましたが、今回のようなKOBUDOだけで全編というのは初めて緊張しました。

妹尾 でも、いつもとは違ういい緊張感でした。色々コラボレーションしていきたいという話をしていたので、今回のような形で関わってよかったです。

◆今夏は静岡を初日にセカンドアルバムのツアーを行ったそうですが？

藤原 立派なホールで幕開けできてっていう感じでうれしかったですよ。

妹尾 お客さんのアンケートが熱かったですね。それに励まされて全公演を乗り切ったような感じがあります。アンケートって冷静に客観的に見てくれるわけだから、その日のうちに読むことは日課になっていて、反省会(と称する飲み会)もしています。

古川 お客さんの反応で今年もすごくパワーをもらいました。皆さんからの熱いメッセージをもらうとそれを繋げていきたいなと思います。「来年もきて下さい」とか書いていただいてると、是非また行きたいなとか。

藤原 インストゥルメンタルでやっていくユニットが少ない中で本当にありがたいし、もっともたくさんの人に知ってもらいたいって思います。

妹尾 歌詞が無いだけにお客さんとの音のキャッチボールを大切にしたいです。例えば、こんな曲を聴いてみたいっていうのが次のアルバムに入っていたらね。

◆今後チャレンジしたいことは？

妹尾 まずは三人での活動を充実させたいですね。それから結果的に他のアーティストや音楽以外のジャンルでもいろんなコラボレーションができればいいですし、チャンスがあったら何でもやっていきたいです。でも、ソロで三人が培ったものを合せていくってことを常にやっているんですが、今はバランスがすごくいいなって気がしています。

藤原 お互いにお互いのフィールドから持ち寄って、三人でやることによつてまた一つの新しいものが

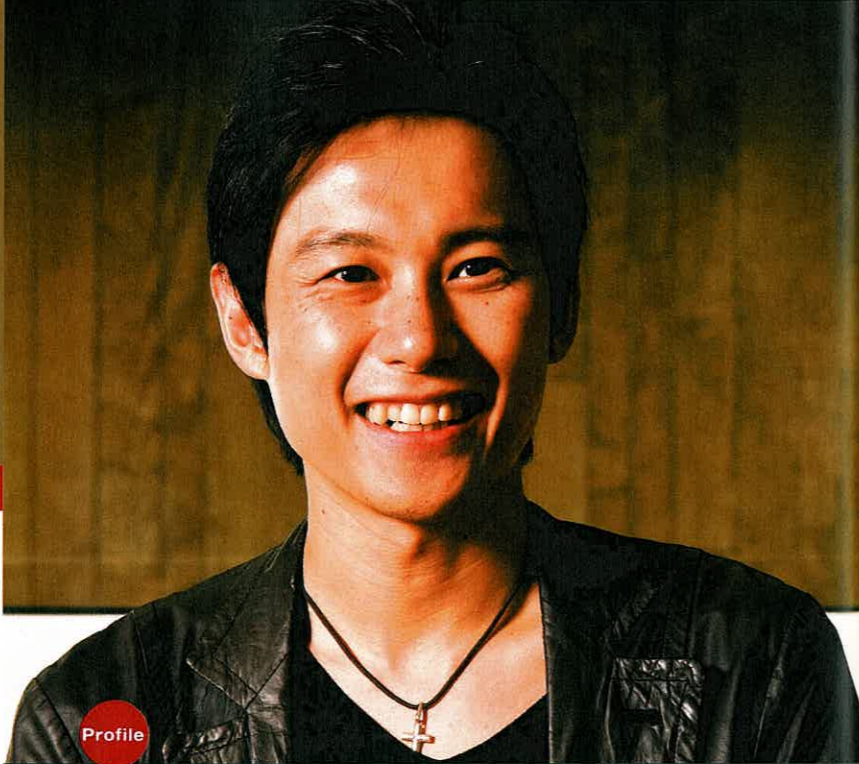


Profile

妹尾 武<ピアノ>

大学時代に作曲した作品が細野晴臣監修のコンピレーションアルバムに収録されたのを機にプロとしての活動を開始。以降、コスペラズ、高橋真梨子、鈴木雅之、夏川りみ、平原綾香、藤原道山、谷村新司、松任谷由実といったアーティストのレコーディングやコンサートに参加したり楽曲の提供を行う。テレビドラマのサウンドトラックも手がけ、2008年秋のドラマ「チームバチスタの栄光」の音楽も担当。

<オフィシャルホームページ><http://www.senootakeshi.com>



Profile

藤原 道山<尺八>

10歳より尺八を始め、人間国宝 山本邦山に師事。2001年CDデビュー。ソロ以外でも坂本龍一、ケニー・G、野村萬斎、ウィーン・フィルメンバーによるスペシャルアンサンブルなど各界のアーティストとのコラボレーションを積極的に行う。常に既成の尺八イメージを変える自由な発想で、舞台音楽やアルバム制作、コンサートツアー等、原点とオリジナリティを追求しながらもジャンルを超えた音楽活動を展開。松竹映画・山田洋次監督・木村拓哉主演「武士の一分」では、ゲストミュージシャンとして音楽に参加。最新アルバムは藤原道山×富田勲「響-kyo」。<オフィシャルホームページ><http://www.dozan.jp>



Profile

古川 展生<チェロ>

東京都交響楽団首席チェロ奏者。ソリストとしても、国内外多数のオーケストラと共演し、各地で絶賛を博す。ソロ活動では、リサイタルや室内楽を展開し、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも積極的に行うなど、クラシックのみならず、ジャズ、タンゴ、ポップスなど幅広いフィールドで目覚ましい活躍を続け、人気、実力ともに各方面より注目度ナンバーワンのチェリストとされている。2008年9月より公開、第32回モントリオール世界映画祭グランプリほか多数を受賞している映画「おくりびと」では劇伴でチェロ演奏を担当している。<オフィシャルホームページ><http://fukurawanobuo.com>

■ KOBUDO—古武道—

東京芸大在学中より天才の名をほしいままにし、今や若手尺八界の第一人者となった藤原道山(ふじわらどうざん)、東京都交響楽団の首席チェリストに就任し、様々なジャンルで縦横無尽の活躍をみせる古川展生(ふるかわのぶお)、コスペラズなど数々のヒット曲を手がけ、TVドラマなどでも精力的な活動を続ける妹尾 武(せのおたけし)の三人からなるユニット。純邦楽、クラシック、ポップスというそれぞれ異なるフィールドの第一線で活躍している三人が集い、ジャンルの垣根を取り払った創作活動・演奏活動を展開。それぞれのルーツを大切にしながら、新たな音楽の創造を目指している。

2007年5月23日ファーストアルバム「KOBUDO」、2008年6月18日セカンドアルバム「風の都」をリリース。

<KOBUDO—古武道— オフィシャルホームページ>
<http://columbia.jp/kobudo/>

●公演情報

音楽界の貴公子たちvol.2

KOBUDO-古武道- ~尺八・チェロ・ピアノ コンサート~

2009年3月28日(土)

開場/18:30 開演/19:00

ロゼシアター中ホール

【入場料】

(全席指定・税込み)

1階席:3,500円 2階席:2,500円 学生:1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【お問合せ】

ロゼ・チケットセンター/0545-60-2500 (9:00~19:00)

<http://rose-theatre.jp>

公募展への

すすすめ

Art Generation 2009

新進アーティスト作品展Ⅶ

今年7回目を迎える「新進アーティスト作品展」は、静岡県内の18〜35歳を対象とする公募展です。たとえ完成されていなくても可能性が感じられる若いアーティストを応援したいと、年齢制限をあえて設けてあります。2年前から設立した「高校生の部」は爽やかな風のごとくこの公募展に旋風を吹き込み、一般の応募者に刺激を与えています。

全国に数ある公募展の中からこの公募展に自分の作品を出品するが、「賞金」「規模」「グレード」など基準はそれぞれだと思います。ひとつの基準となる「審査員」、この人に自分の作品をみてもらいたい、そんな考えて選ぶ方もいることでしょう。そこで、「新進アーティスト作品展」今回の審査員をご紹介します。お一人は評論家という立場で、現在の公募展事情についての見解を、もうお一人は作り手という立場で自身の作品を紹介させていただきます。「ぜひとも」と思われた方、今の自分を試してみてください。

たくさんの方の応募をお待ちしております。

最新公募展事情

塩田純一

1950年 東京都生まれ
 東北大学文学部大学院修士課程美学・美術史専攻終了
 美術史学専攻終了
 栃木県立美術館 世田谷美術館の学芸員、東京都現代美術館学芸部長を経て、現在、東京都庭園美術館副館長。

1999年第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館コミッションナーを務める。

「デイヴィッド・ナッシュ 樹のいのち 樹のかたち」展(栃木県立美術館、1984年)、「イギリス美術はいま」展(世田谷美術館ほか、1990年)、「リアル/ライフ イギリスの新しい美術」展(東京都現代美術館ほか、1998年)、「アルフレッド・ウァリス」展(東京都庭園美術館ほか、2007年など)、「イギリス関係をはじめ」「ギフト・オブ・ホープ」展(東京都現代美術館、2000年)、「舟越桂 夏の邸宅」展(東京都庭園美術館、2008年)など、現代美術の展覧会を多く手がける。

著書に、「イギリス美術の風景」(ブリュッケ、2007年)がある。

東京都庭園美術館は、アール・デコ様式の旧個人邸宅の内装をそのまま生かした展示空間で、とても落ち着いた雰囲気のある建物です。文字通り、広い庭でのんびりと過ごすこともでき都会のオアシスのようです。

新進アーティスト作品展Ⅶ審査員

塩田純一

(しおだじゅんいち)
 美術評論家・東京都庭園美術館副館長

新進アーティスト作品展Ⅶ審査員

斉藤好和

(さいとうよしかず)
 イラストレーター

1956年 東京生まれ
 武蔵野美術大学卒業 主に広告関係で立体イラストを制作



表情豊かな人形たちは、人形粘土などを使用し手作りしてひとつひとつ制作されカメラに収めたものです。同じ作家同士、制作過程の苦労などがよくわかるそうです。

- 講談社 五木寛之「青春の門フェア」イラスト部門最優秀賞(1981年春)
- 日本グラフィック展佳作入選 日本イラストレーション展入選(1981年夏)
- 日本グラフィック展入選(1982年夏)
- 第5回ハンズ大賞マインド賞、扶桑社エッセカレンダーコンテスト金賞(1988年春)
- 山田養蜂場第1回ミツバチの童話 絵本コンクール最優秀賞(1999年夏)
- 社団法人生命保険協会 家族のきずな絵本コンテスト大賞(内定)(2008年冬)
- TVチャンピオン(12ch)アニメ王選手権審査委員(2005年夏)
- 吉祥寺アニメフェスティバルイラストコンクール審査委員(2005年秋)
- 富士市文化会館ロゼシアター公募展「新進アーティスト作品展」審査員(継続中)(2007年春)



件で作品が展示されるわけではない。当然、入選、落選の別があり、若い人にとってはそうしたコンクールへの出品自体に力試しの意味がある。他の作家との切磋琢磨といった側面もあるだろう。その意味では、公募展に対する必要には根強いものがあるとも言え、その期待を反映してか、近年各種の公募展が再び増大傾向にあるように思う。その形態も、より地域に根ざしたものだったり、村上隆が立ち上げた「GEISAI」に代表されるような、アーティスト主体の自由なフェスティバル形式のものだったり、随分と多様になってきているようだ。

つい最近、沖繩の若い作家たちが運営する沖繩アートフェスティバルに審査員として関わった。アーティストの日比野克彦と宮島達男と筆者の三名が審査員として入選者が提出した作品プランを審査し、約半分に絞り込む。最終的に34人の入選者が実際に沖繩まで作品を送り込み、このなかから賞作品を決めるというものだった。入選作家の活動場所は沖繩だけではなく全国に散らばっていた。作品は未完成ながらも可能性に富むものだった。沖繩という場において沖繩の作家と本土の作家が交流し、相互に刺激を与え合う。それがひいては沖繩のアートシーンを活性化していくことを目論んだものだった。

富士市の公募展「Art Generation 2009」もそんな機会になればと願っている。

主催・お問い合わせ
 (財)富士市文化振興財団「新進アーティスト作品展」係
 TEL.0545-60-2510 http://rose-theatre.jp

Art Generation 2009 募集要項

新進アーティスト作品展Ⅶ

受付期間 2008.12.1(月) - 2009.2.12(木) 必着

【審査員】 塩田純一(美術評論家、東京都庭園美術館副館長) 斉藤好和(イラストレーター)

【作品ジャンル】(展示する上での分類)
 平面作品・・・絵画、版画、写真、レリーフ、コンピューター・グラフィック等の手法を用いた平面作品
 立体作品・・・彫刻、オブジェ 等
 映像作品
 インスタレーション

【作品サイズ】
 平面作品・・・・・・S100号(162.1cm×162.1cm)以内 重量20kg以内
 立体作品・・・・・・高さ300cm×幅300cm×奥行300cm以内 重量60kg以内
 映像作品・・・・・・上映時間3分以内、モニターなど機材持込のこと
 他の作品鑑賞に支障のない音量であること、ヘッドホン持込可
 インスタレーション・・・・高さ300cm×幅300cm×奥行300cm以内 重量60kg以内
 ・応募作品は応募者自身の作品で、テーマは自由、既存の作品でもよく、1人1点とします。
 ・作品と共に展示するので、作品についてのコメント(約100字)を添付してください。
 ・搬入、展示、撤収が簡単にできる状態にしてください。(持ち運び、移動が容易にできるように)
 ・平面作品は額装し(ガラス使用不可)、ピクチャーレールにワイヤーで吊れるように、吊り金具をつけてください。
 ・立体作品は天吊りできません。
 ・展示に不適切であると主催者が判断した作品は、展示をお断りする場合があります。
 ・不定形な作品については相談を受けます。展示する上で、特別な指示がある作品については、作家ご本人に現場で組み立てていただく場合があります。

【応募資格】
 ・作家を志し、美術を通して自分を表現することに情熱をかけている人。
 ・18歳〜35歳まで(H20.4.1現在)。
 ・静岡県全域出身者および在住、在学、在勤の人。 以上の条件をすべて満たしている方

【賞】 優秀賞(1点):賞金10万円・賞状・副賞(ターナー色彩株式会社/コルデンアクリリクス20ml 24色セット)
 佳作(1点):賞金5万円・賞状・副賞(ターナー色彩株式会社/コルデンアクリリクス20ml 18色セット)
 ※3月8日(日)の交流会の中で表彰式を行います。

【審査・結果発表】
 ・審査は芸術的観点から総合的に評価します。
 ・審査の結果は、入選者のみ書面に通知します。

【出品料】 1,000円(入金した出品料は返金いたしませんのでご了承ください)

【応募方法】
 ・応募には所定の「応募用紙」が必要です。「応募用紙」は送付先の住所・氏名を明記の上、はがき・Faxにて、(財)富士市文化振興財団「新進アーティスト作品展」係までご請求ください。
 または、ロゼシアターホームページよりダウンロードできます。ロゼシアター1F財団事務所まで直接取りに来ていただいても結構です。
 ・「応募用紙」に必要な事項を明記の上、受付期間中に係まで郵送、または直接持参して下さい。
 (委託搬入の場合)
 出品料とともに「応募用紙」を現金書留で送付してください。

【作品搬入】 2009年2月22日(日) 10:00〜19:00
 場所/富士市文化会館ロゼシアター1F 展示室搬入口より
 ・所定の書類「作品票・作品受付証・作品添付証」に必要な事項を記入の上、出品料、作品とともに搬入してください。
 (委託搬入の場合)
 所定の書類「作品票・作品受付証・作品添付証」に必要な事項を記入の上、作品とともに搬入してください。「作品受付証」を郵送するため、80円切手を貼付し、送り先の住所・氏名を書いた封筒を作品に同封して下さい。また、作品の天地を明らかにしておいてください。

【作品搬出】 2009年3月9日(月) 10:00〜19:00 場所/搬入時と同様
 ・「作品受付証」と引き換えに、作品を返却します。
 ・3月8日(日)交流会終了後の搬出可能です。

【その他】
 ・作品の額装、表装及び搬入、搬出に要する費用は応募者の負担とします。
 ・搬入、搬出の期日、時間は厳守してください。(運送業者は応募者自身で手配してください)
 ・応募作品については、当展の宣伝広報のため、撮影、新聞掲載、放送などに使用する場合がござります。あらかじめご了承ください。
 ・会期中、保管中の作品については十分注意して取り扱いますが、不可抗力による損害については責任を負いません。
 ・陳列した作品は会期終了まで撤去することはできません。

【高校生の部】
 【応募資格】・・・・・・静岡県内高校生(H20.4.1現在)
 【賞】・・・・・・A・G賞:賞状・副賞(ターナー色彩株式会社/コルデンアクリリクス20ml 12色ノールセット)
 ※3月8日(日)の交流会の中で表彰式を行います。
 【出品料】・・・・・・《高校生の部》は必要ありません。

◎その他、お問い合わせ等については一般公募同様

展示期間
 2009.2.28(土) - 3.8(日) 10:00〜18:00 (最終日は17:00まで)
 富士市文化会館(ロゼシアター)展示室 入場無料

協賛/ターナー色彩株式会社

EVENT CALENDAR 2009

3 MARCH

3/5 水曜日 ぶじ寄席「桂歌丸・三遊亭楽太郎 二人会」

中ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込)
1階席/4,500円 2階席/3,500円
チケット好評発売中



3/14 土曜日 デーモン小暮の邦楽維新Collaboration 「富士・雨待ちの月」

出演:デーモン小暮閣下(朗読・歌唱)、友吉鶴心(琵琶)
外山香(箏)、三橋貴風(尺八)
黒船バンド/松崎雄一(編曲・キーボード)、雷電湯澤(ドラムス)、石川俊介(ベース)

中ホール
開場/17:30 開演/18:00
●入場料(全席指定・税込) 1階席/6,000円 2階席/5,500円 学生/2,000円
チケット好評発売中



デーモン小暮閣下 友吉鶴心 外山香 三橋貴風



松崎雄一 雷電湯澤 石川俊介

3/15 日曜日 ロゼピアノコンクール2009 予選

小ホール
●入場無料

3/27 金曜日 ロゼピアノコンクール2009 本選

中ホール
●入場無料

3/28 土曜日 音楽界の貴公子たちVol.2 KOBUDO-古武道- ~尺八・チェロ・ピアノ コンサート~

チェロ:古川展生
ピアノ:妹尾 武
尺八:藤原道山
中ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込) 1階席/3,500円 2階席/2,500円 学生/1,000円
チケット好評発売中



古川展生 妹尾 武 藤原道山

※平成20年11月30日現在の情報となります。
※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
※表示価格は全て消費税が含まれております。

2 FEBRUARY

2/20 金曜日 矢野沙織 Concert Tour 2009 ~TRIBUTE TO BILLIE HOLIDAY~

出演:矢野沙織(sax)
斉藤ネコ(vn)
後藤浩二(pf)
萱谷亮一(per)

※都合により変更する場合がございます。ご了承下さい。
中ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込)
1階席/3,500円 2階席/2,500円 学生/1,500円
チケット好評発売中



2/22 日曜日 平成20年度優秀映画鑑賞推進事業 往年の名作映画が楽しめる!!

中ホール
「沓掛時次郎 遊侠一匹」 10:00~11:30 (90分)
「悪名」 12:00~13:35 (95分)
「嵐を呼ぶ男」 14:00~15:40 (100分)
「人生劇場 飛車角と吉良常」 16:00~17:50 (110分)
●入場料(全席自由・税込) 各500円 (※ 各回ごと完全入替制となります。)
チケット好評発売中



「沓掛時次郎 遊侠一匹」



「悪名」



「嵐を呼ぶ男」



「人生劇場 飛車角と吉良常」

2/28 土曜日 ロゼシアター公募展 新進アーティスト作品展Ⅶ -Art Generation 2009-

一般の部/高校生の部
展示室
開場/10:00 開演/18:00(最終日17:00まで)
●入場無料



Art Generation 2008 一般の部優秀賞「参加型アート」

3/8 日曜日

1 JANUARY

1/18 日曜日 新春爆笑!お笑いバトル2009in富士

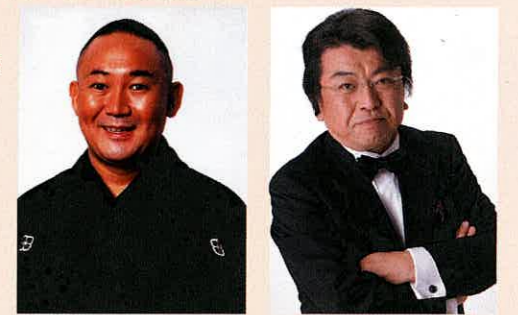
大ホール 1回目:開場/11:00 開演/11:30 2回目:開場/14:30 開演/15:00
●入場料(全席指定・税込) 均一/3,500円 チケット好評発売中
※3才以上有料(2才以下は保護者1名につき1名まで、ひざ上鑑賞無料。お席が必要な場合は有料。)
※都合により出演者が一部変更になる場合がございます。ご了承下さい。



我が家 超新塾 ナイツ GAG少年楽団

1/30 金曜日 林家正蔵&佐山雅弘「ジャズ落語」

中ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円 2階席/3,000円
チケット好評発売中



2 FEBRUARY

2/13 金曜日 伊勢正三プロデュース ロゼフォークプラザ2008

出演:伊勢正三、イルカ、杉田二郎、細坪基佳
大ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定・税込) 均一/6,000円 チケット好評発売中



伊勢正三 イルカ 杉田二郎 細坪基佳

2/15 日曜日 江戸糸あやつり人形結城座 注文の多い料理店 ~宮沢賢治の写し絵劇場~

中ホール
開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席指定・税込) 一般/3,000円 学生/1,000円
チケット好評発売中

【関連企画】
◆《写し絵》と《糸あやつり人形》のワークショップ
2009年2月14日(土) 14:00~15:30
リハーサル室
参加費/無料
定員/先着25名(公演チケットが必要です。)



画:寺門孝之

Heart

脚本・演出・振付/三浦克也 作曲/海田次朗 編曲/大澤紀彰

平成20年10月5日、6日上演されたロゼシアター開館15周年記念ミュージカル「Heart～優しさの中にある勇氣～」。小学校4年生以上の92名がキャストとして参加。計4回の入場者数は2400名を超えた。

本作品の主人公は一人の少女「麻里亜」。学校ではいじめを受け、家庭でも母親との間に溝が出来てしまっている。ある日、自ら命を絶とうとして交通事故に遭う。一命は取り留めたものの昏睡状態に陥ってしまい、死後の世界であろう不思議な空間に迷い込んでしまう。

そこで出会ったのは、猫のフェアリー、遠い昔の時代に飢饉によって命の綱を切られたドリームとスライ、エイラの座敷童子、純白の衣裳を身に纏ったクールたちだった。そして、彼らとともに『生まれ変わり』の願いが叶うという西の果ての国の女神のもとへ向けて旅を始める。

現実の世界では、麻里亜は病院のベッドの上、傍らには母親。医師は手を尽くしているが意識が戻る兆候すら見られない。母親は墓にもすがる思いで、とある祈祷師の元を訪れる。

旅の途中、戦争によって命を落とした人々や、欲望の塊と化した人々の生に対する想いを目の当たりにする麻里亜。現実世界では考えられないような体験をし、遂に西の果ての国に辿り着き、女神との対面を果たす。そして、女神からの問いかけに、麻里亜は自分自身を振り返り、母そして友との再会を望み、生きるという事、生きていくという事についての答えを見つける。そして、麻里亜は「命の尊さ」を胸に、母の自分を呼ぶ声で目を覚ます。

本作品は、いわゆる「生と死」をテーマにしたミュージカルで、ロゼシアターがこれまでに制作を手がけた作品の中でも最もメッセージ性が強く、観る人に感銘と共感を与える作品であるといえよう。さらに、暗くなりがちなどのテーマを、子供たちの元気いっぱいの踊りやアイデアを凝らした衣裳、そして華やかな照明で暗さを払拭、さらに今回の大道具の要ともいえる「大臣柱」がステージを縦横無尽に動き回り観客を圧倒した。

開館5年目から始まった市民ミュージカル。継続は力なりの言葉通り、ここ数年で大きな飛躍を遂げた。そして今回、開館15周年という一つの節目を迎え、様々な意味で大きな意義のある作品を創り上げたといえるだろう。



STAFF

演出・脚本・振付 三浦 克也
作曲 海田 次朗
編曲 大澤 紀彰

舞台監督 川口 雄一郎
照明 建部 佳紀
音響 長谷川 圭一

歌唱指導 辻村 典枝
稽古ピアノ 斉藤 晶子

演出助手 川口 美帆
美術 JUNKO
衣裳 牧野 ちや子
小道具 横沢 真由美
美術・衣裳補 ヘアメイク SACHIKO

舞監助手 佐野 務
演出部 渡辺 孝一
久保田 文裕
神田 修
大路 慎也
千代 歌織
花田 ミナ
神尾 将秀
稲葉 翔子
栗阪 彩
西家 貴敬
秋山 陽菜

ムービング照明 近藤 大亮
照明オペレーター 藤田 麻里
原田 敦史
堀 彩乃
音響オペレーター 増井 寿人

衣裳製作 秋山 里江子
萩谷 浩美
大石 浩弥
小林 郁恵
佐野 月子
志水 文子
坪井 美千代
西家 節子
神尾 三代子
西川 文代
久松 彰子
平柳 典子
深川 千鶴
深澤 真奈美
望月 典子
望月 由美子
渡辺 悦子
渡辺 かつお
大道具製作協力 窪田 浩子
志田 藍紗
横沢 史織
神田 隆文

VTR記録 制作 矢部 哲也
運営委員長 丸茂 渥祥

写真提供 富士市立博物館
近現代フォトライブラリー
大道具協力 ふとんのシバタ

企画・製作 (財)富士市文化振興財団

CAST

Team MOMIJI

佐野 百合沙
玉井 美里
橋本 暁
後藤 歩
坪井 未来
西川 絢子
志田 澄美
松本 千夏

Team ICYOU

佐野 七虹
小林 宏江
藤田 和正
真野 晴名
諫山 由芽
志田 澄美
木村 千賀子
望月 未来

芝田 有沙

小野 美紀
渡辺 愛菜
齋科 明子
鍋田 美江
望月 千江
佐藤 瑞穂
望月 美郷

斎藤 ゆかり

望月 美郷

萩谷 友美
倉田 稜子
古畑 光
安藤 唯
大川 華澄
大野 優奈
戸高 結月
屋比久 瑠葵
山田 暹
渡邊 千夏
高田 光莉
望月 咲良
上野 真緒里
倉田 香子
佐野 琴美
柴田 りさ子
平柳 美莉
吉田 薫平
秋山 このか
中村 香菜
武者 晴香
望月 美伶
上野 日菜子
完岡 海斗
大川 千穂
藤田 羽未
古畑 七菜
大久保 まい

佐々木 渚
篠原 真奈
田井 葵津美
山崎 玲美
井上 美佳
西條 美優
佐野 汐里
宮林 佑妃
八代 千絵美
加藤 捺巳
稲葉 成美
大森 美力里
菅原 玲奈
田井 紗莉菜
古畑 龍
諫山 成
西條 陽夏
秋山 真実
渡辺 玲菜
屋比久 季葵
望月 香恋
加藤 大輝
大石 瑠花
畑田 瑞穂
吉田 美知花
望月 大翔



国内最大の文化イベントである国民文化祭が、来年静岡県で開催されます。
富士市では、かぐや姫フェスティバル・紙のアートフェスティバル・少年少女合唱の祭典・
美術展(写真)・出版マンガフェスティバルの5つを開催します。
本年は、はばたく静岡国文祭プレフェスティバルと称して下記の5事業を開催しました。
[第24回 国民文化祭富士市実行委員会 TEL.0545-55-2874 FAX.0545-53-0789]



マスコットキャラクター「ふじっぴー」

プレフェスティバル IN 富士 開催しました!

第31回 静岡県少年少女合唱連盟合同演奏会
少年少女合唱の祭典

「プレフェスティバルIN富士」のトップをきいて、平成20年8月23日(土)富士市
ロゼシアターで第31回静岡県少年少女合唱連盟合同演奏会が開催されま
した。静岡県下11団体のみなさんがこの日、美しい歌声を披露してくれました。



第2回 富士芸術祭



9月27日(土)には、富士市中央公園にて第2回富士芸術祭「ふじのめぐみ」が開催され、ダンボールアートによるワー
クショップが行われました。ダンボール製の高さ3メートルの「木」に子どもたちが自分の手で型どった色紙にメッセ
ージを書き込み、葉っぱに見立てて「木」に貼っていききました。

第48回 静岡県芸術祭
美術展(写真)

9月30日(火)からは写真展がスタートしました。応募総数249作品の中から1次審査を通過した73点の作品を展示、さ
らに岡本美知子氏・清水公代氏のお二人の審査員によって、芸術祭賞・後援者賞(K-MIX賞)・奨励賞2点・準奨励
賞3点が選出されました。右の写真は、実行委員の佐野廣氏によるギャラリー・レクチャーとヴァイオリニストの田島優子
氏のギャラリー・コンサートの様子です。



かぐや姫シンポジウム



秋色深まりゆく10月21日(火)かぐや姫シンポジウムがロゼシアターで開催されました。日本舞踊家泉裕紀さんの
構成、振り付けによる「創作舞踊～かぐや～」によって秋の夕べがより幻想的に彩られた後、かぐや姫にまつわる
シンポジウムが行われました。シンポジウムでは、駿河郷土史研究会会長の渡邊繁治さんの進行により、日本考
古学会協会・富士学会会員の植松章八さんが「富士山信仰とかぐや姫」を、そして、元立正大学講師の丸茂
湛祥さんが「かぐや姫伝説と竹取物語」をテーマに講演しました。

第12回 富士てがみまつり

「プレフェスティバルIN富士」のラストを飾ったイベントが、11月23日(日)かぐや姫ゆかりの地であ
る吉永地区の長学寺で行われた第12回富士てがみまつり。全国各地から集まったかぐや姫へ
の手紙を紹介するもので、今年のテーマは「私の健康づくり」でした。多くの方にご参加いた
だき、大変盛り上がったお祭りとなりました。



箏奏者 外山 香 とやま かおり
富士市出身

3月14日に開催される
「デーモン小暮の邦楽維新Collaboration～富士・雨待ちの月～」に
出演する富士市出身の箏奏者、外山香さんにお話を伺いました。

◇箏は何歳から始めたのですか?

3歳から伯母に習い始めたのですが、お稽古が厳しくて毎回泣いていましたね。

◇最近の活動状況を教えてください。

昨年、12年ぶりに発売したCDが文化庁芸術祭参加作品に選ばれてから、当初の
予定通り充電期間をとって、その間に地元で後輩の育成に力を注いでいま
した。でも、富士市や自宅のある横浜では、市民コンサートにゲスト出演したり、数多
くの学校公演や「大倉山記念館」の水曜コンサートには出演していました。今後は、
年明けに都内で開催される「作曲家長沢勝俊追悼演奏会」、2月には関内ホール
の「三橋貴風 春の横浜を奏でる」にもゲスト出演します。それから、この「邦楽
維新Collaboration」の4日前にも横浜みなとみらいホール主催の純邦楽による『デ
ーモン小暮の「春琴抄」異聞』に出演予定です。

◇昨年の邦楽維新Collaborationに出演した感想をお願いします。

一言で表現するならば、「楽しかった!」ですね。富士市のお客様に、私自身のリサ
イタルでは観ることの出来ないステージを体験して頂けたという事と、閣下の朗読
の素晴らしさと邦楽器の可能性をご理解していただけたのではないかと思います。

◇普通の演奏会と邦楽維新Collaborationのステージでは何が一番違いますか?

普通の演奏会では、演じる側とお客様の立場が明確に分かれているんですが、こ
のシリーズは演者同士のセッションはもちろんですが、お客様と演者とのセッション
でもあるんですね。そこが一番大きな違いですね。とにかくセッション性が強いステ
ージになっています。

◇邦楽維新Collaborationの見所&メッセージをお願いします。

昨年もそうでしたが、今回ロゼシアターで行うステージも一夜限りのパフォーマン
スで、どこの会場に行っても絶対に観ることができないプログラムになっています。
1回限りのステージをどうぞお楽しみに。

◇ありがとうございました。



2007年9月30日 デーモン小暮の邦楽維新Collaboration～富士・雨待ちの月～

<公演情報>



「デーモン小暮の邦楽維新Collaboration～富士・雨待ちの月～」

“楽器が語り言葉が歌う”朗読パフォーマンス、邦楽の古典から現代曲、洋楽器と競演する古典曲そして邦楽器で味わう洋楽…他のどこ
でも見ることのできないアートとエンターテインメントの絶妙なバランスにより邦楽の既成概念を打破し続けるCollaborationシリーズ!

2009年3月14日(土) 開場17:30 開演18:00 ロゼシアター中ホール
入場料(全席指定・税込) 1階席:6,000円 2階席:5,500円 学生:2,000円 ※未就学児入場不可

【出演】 デーモン小暮閣下(朗読・歌唱)、友吉鶴心(琵琶)、外山香(箏)、三橋貴風(尺八)、
黒船バンド・松崎雄一(編曲・キーボード)、雷電湯澤(ドラムス)、石川俊介(ベース)

チケット好評発売中!!

Information from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

富士市文化会館 ロゼシアター「改修工事」に伴う中ホール貸出し中止についてのご案内



このたび、中ホールの舞台設備関連(舞台機構・照明設備・音響設備)の「一層の充実を図る」ため改修工事を行うことが決まりました。工事期間中は、皆様方大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

工事期間:平成21年5月から平成21年8月初旬(予定)

- ◆詳しいスケジュールが決定次第ご案内いたします。
- ◆改修工事期間中、中ホールはご利用いただけません。

工事内容: 舞台部門(機構・照明・音響)

なお、この期間中の中ホールのご利用申込は、お受けできませんのでご承知くださいますよう、お願いします。



ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

- ロゼ・チケットセンターで直接購入(9:00~19:00)**
ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入(9:00~19:00)**
ロゼ・チケットセンターTEL.0545-60-2500にお電話でお申し込み(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り下さい。
【1】直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引き換え下さい。
【2】郵送...「チケット代金+チケット郵送料」を郵便振替でご入金いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金を確認でき次第チケットを郵送いたします。
郵便振替口座:00840-0-130374 加入者名:ロゼ・チケットセンター
- インターネットで購入 <http://rose-theatre.jp/> 24時間受付**
ロゼシアターホームページにアクセス、チケット購入ページからお求め下さい。
※チケットの引き換えはセブンイレブン、またはロゼ・チケットセンター
- 携帯サイトで購入 http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm**
ロゼシアターモバイルサイトにアクセス、チケット購入ページからお求め下さい。
※チケットの引き換えはセブンイレブン、またはロゼ・チケットセンター
- プレイガイドで直接購入**※取り扱いのない公演もございます。
■マルサン書店 沼津仲見店 TEL.055-963-0350
■ユニオンサンテラス 富士宮店 TEL.0544-24-6777(代)

ロゼシアター自主事業 モバイルサイト開設

http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm
(非対応機種の方)



バーコードリーダー
対応の携帯電話で
読み込むだけ!!簡単
にアクセスできます。

プレゼントクイズ 3月28日開催の 「音楽界の貴公子たち」シリーズVol.2 に出演する「KOBUDO-古武道-」 尺八を演奏するのは、○○○○。

プレゼント1 「KOBUDO-古武道-」

平成21年3月28日(土)
公演チケット10組20名様

プレゼント2 レストラン「ロゼ」御招待券2組4名様

【応募方法】添付はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、性別、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想等をお書きのうえ、50円切手を貼り郵送してください。(平成21年2月28日消印有効)
なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
※ご応募はお一人様一通までとさせていただきます。
同一氏名で二通以上ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

レストランロゼのバイキング

昼 [60分] 11:00~14:30
【料金】大人 1,575円、小学生 1,050円、幼児 525円

夜 [70分] 17:00~21:00
【料金】大人 2,100円、小学生 1,050円、幼児 525円

〈お問合せ〉

レストランロゼ
(ホテルグランド富士直営)
ロゼシアター2階

●お電話でのご予約も承ります。
TEL.0545-60-2727

ロゼシアター休館日のお知らせ

12月28日(日)午後・29日(月)・30日(火)・31日(水) 1月1日(木)・2日(金)・3日(土)・19日(日) 2月16日(月)・17日(火)・18日(水)・19日(木) 3月23日(日)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◇公演情報 ◇施設の空き状況 ◇交通情報など



フラッシュ

バック

2008年 8月 ▶ 10月

ロゼシアター主催事業

ロゼシアター主催(共催)事業を
お客様のアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

8/6 水曜日 ロゼ子どもサマーフェスティバル ロゼ子どもコンサート

- ・今回初めて参加させて頂きました。演奏、歌、踊りととても楽しい時間となりました。是非、また参加したいです。子供もとても喜んでいました。(女性)
- ・小さい子供と一緒に鑑賞する機会というのはなかなか無く、とても嬉しく思っています。今後も是非続けていただきたいです。(女性)
- ・リトミックや手遊びもあって良かったです。生の楽器の音や歌声を聴かせてあげられて良かったです。(女性)



8/24 日曜日 爆笑!お笑いバトル2008 in富士

- ・お笑いの魅力にとりつかれています。家族全員できました。会場にも小さい子からお年寄りまで、みんなの笑い声が飛び交っていました。(30代女性)
- ・皆さんテレビで見るとより迫力があって楽しかったです。これからも頑張って下さい。(60代男性)
- ・お笑いバトルは毎回観て来ますが、T.Vとはまた一味違う面白さがあり、期待以上に楽しませて頂きありがとうございます。(40代女性)



9/7 日曜日 野村万作 萬斎 狂言の現在2008

- ・何度か狂言をみさせて頂いていますが、前回は初めてでした。大変参考になりました。いつも以上に楽しませていただきました。(50代女性)
- ・狂言初心者ですが最初に解説があってわかりやすかったです。内容もおもしろくて楽しかったです。(40代女性)
- ・狂言を見たのは今回が初めてでしたが、思っていたよりもっとつきやう、わかりやすく面白かったです。狂言があんなにコミカルなものだとは知りませんでした。(30代女性)



9/12 金曜日 平常 大人のための人形劇 毛皮のマリー

- ・初めての人形劇を観ることが出来、とても感動です。1人で演じることに驚きと共にエネルギーに身を乗り出して引き込まれました。たくさんの元気をいただき、ありがとうございます。(60代女性)
- ・本当にすばらしかったです。マリーが生きている全てに命がふきこまれてます。(20代女性)
- ・素晴らしい!今まで見たことのないパフォーマンスでした。あつという間に時間が経ってしまった感じがします。(40代女性)



9/13 土曜日 ロゼPresents 第18回星空のコンサート

- ・ちょっと星空の下ではなくて露天でした。公園だともっと盛り上がったような感じがしました。(50代女性)
- ・小さな子供も楽しめるプログラムになっていたのでもっと良かったです。このような公演に参加できる機会が多々あるとうれしいです。(30代女性)
- ・子供連の手アールでも可憐らしく、素晴らしいです。アフリカンミュージックとても楽しかったです。ノリノリの子供達と大人達楽しかったです。星は見えなかったけどピッコスターでいっぱい夜でした。(60代女性)



9/23 火曜日 中国障害者芸術団 千手観音~My Dream~

- ・とても感動しました。見ていると障害があるという事を忘れてしまいました。鳥肌が立つほど良かったです。頑張って下さい。(30代女性)
- ・感動致しました。私もがんばらなければと勇気を与えてもらいました!(50代女性)
- ・なぜか涙が最後まで止まらなかった。すばらしい以外の言葉が見つからない。(60代男性)



10/4・5 土・日曜日 開館15周年記念 ミュージカル "Heart" ~優しさの中にある勇気~

- ・生きる意味がわからなくても、生きたい、生きていたいという気持ちが大事なんだ。人間は一人で生きているのではないというメッセージを感じました。(40代女性)
- ・すごく感動しました。何回も泣きそうになりました。(高校生)
- ・歌や踊りがとても力強く素晴らしいです。生きることの大切さ、喜び(ハート)が伝わりました。(60代女性)
- ・最後にすごい泣いてしまいました。本当に良いお話でした。「生きる」という大切さを教られました。これからも一生懸命生きようと思います。(中学生)

